



秩父教会 秋の講演会

お気軽にお越しください



『氷点』『塩狩峠』の作家三浦綾子をご存知でしょうか？彼女は戦時中軍国教師であったことから敗戦後に挫折絶望しました。自殺未遂と13年に及ぶ死の病との闘い、恋人の死など多くの苦難を通りながら、しかしむしろだからこそ多くの人に勇気と希望を与える作品を書けるようになりました。何が彼女を再生させ、変えていったのか？その人生のドラマの核心、それはすべての人に希望をくれる奇跡の物語です。

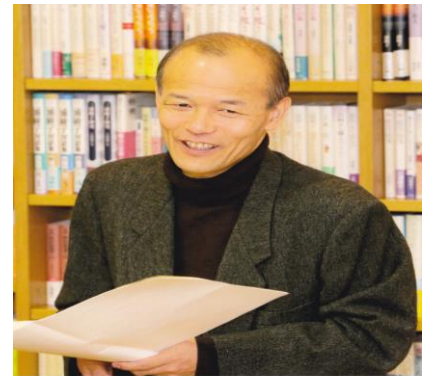
“にもかかわらず愛される時奇蹟は起きる”三浦綾子の人生が語る希望の生涯 森下辰衛先生

1962年岡山県生まれ。1992年から2006年3月まで福岡女学院短大および大学で日本の近代文学やキリスト教文学などを講義。

2001年より九州各地で三浦綾子読書会を主宰、2011年秋より同代表。

2006年、家族とともに『氷点』の舞台見本林のある旭川市神楽に移住し、三浦綾子文学館特別研究員となる。2007年、教授の椅子を投げ捨て、福岡女学院大学を退職して以来、研究と共に日本中を駆け回りながら三浦綾子の心を伝える講演、読書会活動を行っている。

著書に『「氷点」解凍』（小学館）、編著監修に『三浦綾子366のことば』『水野源三精選詩集』（いずれも日本基督教団出版局）がある。NHKラジオ深夜便明



日時：2018年10月7日（日）午後2時開演

（受付：午後1時30分、申し込み不要）

会場：日本基督教団秩父教会二階礼拝堂

牧師：温井豊・温井節子

〒368-0035 埼玉県秩父市上町一丁目8-10

[問い合わせ]TEL(0494)22-2431 ◎入場無料

礼拝は毎日曜日午前10：15～11:40迄行います。

